

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	財政課					
基本構想	戦略的行政運営		重点の方針	1. スリムで効果的な行財政運営の確立				
分野別方針	(10) 効率的な情報システム運営		実施計画事業	1) 情報システム運営事業 (No.84)				
予算等事業名	契約検査事務管理経費(電子入札の推進)							
目的	電算の運用経費であり住民情報・財務会計システム等の安定稼働及び事務の省力化・効率化を図る。 また、かながわ電子入札共同システムを活用し、適正な入札執行を目指す。							
内容	電子入札(契約)及び検査にかかる事務費							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 削減は困難			
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる			<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難			
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)						
	【説明】						

## 総合評価

実績	電子入札共同システムにおいて、一般入札を実施している。						
中間評価との相違点	—						
事業指標(数値指標)	電子入札実施件数						
前期(27年度)目標値				90件			
単位:							
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 平成23年度から平成25年度の平均値が81件である。例年以上の件数を目標としたいので、90件とした。			
	80件						

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,054	1,524				
財源内訳	一般財源	2,054	1,524				
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 神奈川県内で共同で行っているシステムを使用しているため、負担金などの費用が発生することは妥当と考える。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の事業に対する入札を行うため、町が主体で実施しなければならない。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 入札実施数は増となっており、成果が上がっていると判断している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 町単独で入札システムを構築・運営した場合、費用は格段に増となる。現段階では負担金などの最低限の費用で入札を行えているため、効率性は高い。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B:妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C:事業の見直しが必要 D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 業者も含め電子入札システムが浸透している。また、LGWAN回線のためセキュリティ上では情報流出の恐れがなく安全であり、サポートセンターも迅速・適切な対応を行っている。そのため、今後も現状維持で電子入札システムを使用していきたい。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子入札システムは使用時間が限られていることが課題</li> <li>電子入札システムの動作環境に対応したOSやカードリーダーなどを使用しなければならず、市場とずれが生じ、購入製品が限られてしまうことがある</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	電子入札による入札執行を開始してからは、一定の事務の効率化が認められた。		
今後の方向性	町内の一部業者にあっては、そもそも電子入札の登録すらしていない者もあり、結果的に地元発注とならない事案もあることから、普及啓発に努めるとともに最低制限価格のあり方等について、時代に即したものとなるよう改善していきたい。		